



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくりました

地元の声

- ・山が近いので土砂崩れが不安。(近隣住民)
- ・災害時の避難所が近くにあるので早く事業をすすめてほしい。(近隣住民)

事業前

- ◆豪雨等により、がけ崩れが発生するおそれがありました。



事業前の状況



保全対象(避難所)

事業後

- ◆擁壁をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害を軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：下仁田町中小坂
- 事業内容：擁壁工167m、法枠工
- 事業期間：平成26年度～令和3年度

※法枠(のりわく)とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。

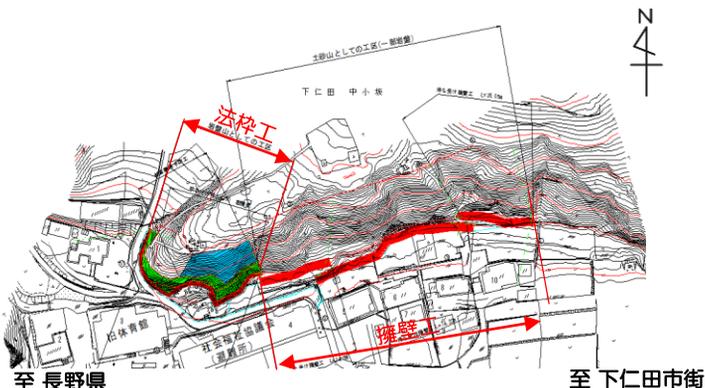


事業位置
下仁田町

事業の進捗状況 (令和3年度完了)

今、何をしているか

令和3年度に工事が完了し、事業が完了しました。



至長野県

至下仁田市街

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

